

国内クレジット認証委員会御中

## 審査結果概要書

平成23年8月30日  
審査機関名 SGSジャパン株式会社

### 1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	A重油ボイラからヒートポンプへの更新プロジェクト
排出削減事業者名	株式会社岩手エッグデリカ
排出削減共同実施事業者名	株式会社 FTカーボン
事業実施場所	10号ハウス (岩手県八幡平市平笠第2地割6番地8)
事業の概要	本事業は、A重油焚きボイラ2基をヒートポンプ2基へ更新し、省エネルギーと共に低炭素燃料を使用することでCO2排出量を削減する事業である。
	2011年度： 80tCO2/年 2012年度： 80tCO2/年 (事業実施期間合計160tCO2/年)
国内クレジット認証期間	開始日 2011年 4月1日 終了予定日 2013年 3月 31日
排出削減方法論	方法論番号004 空調設備の更新

### 2. 審査結果

本事業は、排出削減事業の要件に適合している

### 3. 実施した審査手続の概要

審査手続により、以下の排出削減事業の認証の要件の妥当性を確認している。

要件	審査手続
日本国内で実施されること	<p>事業計画が日本国内で実施されていることを、事業サイトを訪問して確認した。</p> <p>排出削減事業実施場所：10号ハウス 岩手県八幡平市平笠第2地割6番地8</p> <p>事業実施サイトの視察日付：2011年7月21日</p>
追加性を有すること	<p>1) 法的義務がないこと 本事業は、法的義務等の遵守のために計画されたものではなく、CO2排出量の削減を目的として実施されたことを関係者への質問等により確認した。</p> <p>2) 設備が継続利用可能なこと 排出削減事業を実施せず、設備更新を行わない場合、既存設備を継続して利用できることを、現地における関係者への質問及び関連書類で確認した。</p> <p>3) 投資回収年数 排出削減事業の投資回収年数は14.5年である。投資回収年数計算の根拠データについて、事業者及び関係者への質問及び検算、関連証憑との突合により適切性を確認している。また投資回収年数の算出については、補助金を除いた純投資額をもとに算出している。</p> <p>4) 追加性判断における定性要因 本事業者は地域社会、環境への貢献に積極的な取り組みを行っており、本事業は重油価額変動への対応もあるが、環境汚染の低減が主目的であることを関係者へのインタビューにて確認した。また、地域社会及び取引先への環境に対する取組をアピールする効果も期待できることにより、国内クレジット制度への参加に至ったことを確認した。</p>
自主行動計画に参加していない者により行われること	<p>排出削減事業者への質問、関係者への質問等により、本実施事業所が自主行動計画に参加していないことを確認している。</p>
排出削減方法論に基づいて実施されること	<p>1) 本排出削減事業は、承認済排出削減方法論004に基づき排出削減量を計算しており、また、方法論の適用条件を満たしていることを確認している。</p> <p>「方法論004」 適用条件1：既存の空調設備よりも高効率の空調設備に更新していることをカタログにて確認した。</p> <p>適用条件2：空調設備の更新を行わなかった場合、事業実施前の空調設備を継続して利用できることをヒアリング及び関連書類にて確認している。</p> <p>適用条件3：事業実施前後の空調設備のエネルギー使用量に最も影響を与える活動量を使用していない為、適用条件を満たす必要はない。</p> <p>2) その他、バウンダリーの設定、ベースラインの設定、リーケージの特定、排出削減量、モニタリング方法が適切であることについて、それぞれ質問と関連証憑により確認している。なお、本事業におけるエネルギー使用量のモニタリングは「国内クレジット制度における施設園芸用ヒートポンプ導入に伴う温室効果ガス排出削減に係るモニタリング方法（農林水産省）」を採用しており、負荷変動が5%未満であることを、関係者への質問及び関連書類により確認した。</p>

上記の詳細については、別紙「排出削減事業の要件についての確認事項一覧」を参照すること。

### 4. 特記事項

・事業実施前設備は温風暖房機仕様でありフロン等が使用されていないことを確認した。

以上